

用途	新設歩道橋脚基礎
工事名	平成17年度円滑国道第2-1-1-2号 交通円滑化事業(国道)
工事場所	宮崎県宮崎市福島町
発注者	宮崎県宮崎土木事務所
施工時期	平成17年9月～平成17年10月
杭形状	直杭 6.8m～22.3m×24本 (1橋脚当り4杭×6橋脚)
杭延長	301.2m
鋼管仕様	API N-80 φ177.8×10.36t
標準鋼管長	1.5m
鉄筋仕様	SD490 D51
標準鉄筋長	2.0m
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式
削孔機	クローラタイプ(TDH-100)ノーマルブーム
空頭制限	なし
上層地盤	シルト
定着地盤	砂岩・泥岩(軟岩)

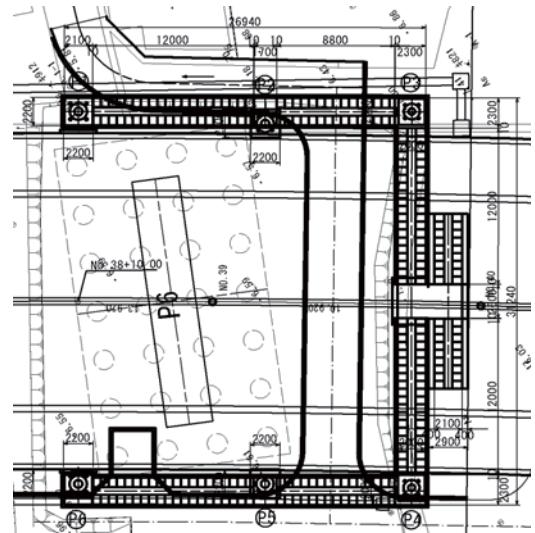
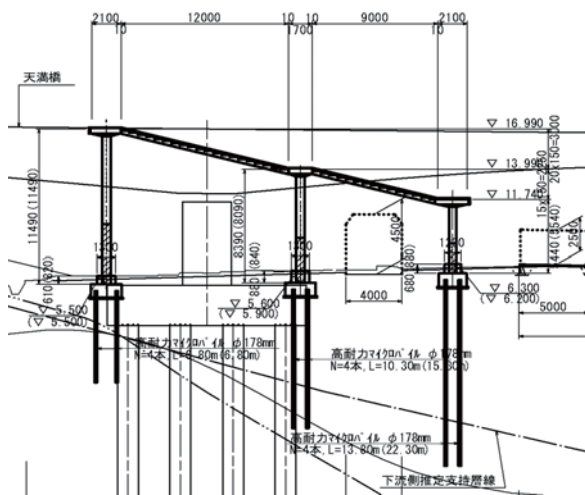
工事の特長

・本工事は、国道220号の交通渋滞を緩和するため、国道269号(天満バイパス)工事の一環として、天満バイパスと大淀川の交差部に架かる既設橋梁(天満橋)への昇降設備として歩道橋を新設する工事である。

・桁下および測道と隣接する狭隘条件、ならびに、民家に隣接していることから、低騒音・低振動な工法条件により高耐久マイクロパイルが採用された。

・民家に隣接していたため、パーカッションの使用を抑え、スパイクチップのインナービットにて削孔していたが、泥岩の削孔にかなりの時間を要したため、地盤を削り取りながら掘進む土丹・粘土用のインナービットに変更した。これにより多少の削孔時間短縮は見られたが、パーカッションなしでの削孔では、標準歩掛とおりの施工速度の確保が困難であった。

概要図および位置図



施工状況写真



着工前全景



完成時全景



施工状況



施工状況



施工状況



HMP完成



プラント設備



インナービット(土丹・粘土用)